

④ 創 作 思い描いた創作のものがたり

1	坂口安吾集	坂口 安吾	S 50・7
2	木の話	蓮原 昭	H 3・12
3	九州うまいもの旅	楠本憲吉・友清高志	S 55・10
4	世界一周の誕生	園田 英弘	H 15・7
5	るーぷ幻想	もとむら睦花	H 12・11
6	鯨のはみがき	前田 拓郎	S 52・12
7	我が罪	宗方 慶司	H 12・12
8	踊り子	柳谷ひさ子	H 16・8
9	glass prison グラスプリズン	浜口 剛	H 15・8
10	大隈言道の桜	桑原 廉靖	H 4・5
11	K I MONO 幻想曲	伊賀 律子	H 13・9
12	春はブルーレースとともに	北原梯二郎・世良田静江	H 5・11
13	白い時差	中島 敏彦	H 7・8
14	寺田寅彦「ローマ字の巻」	鴻江洋明編	S 62・12
15	久留米ラーメン物語	原 達郎	H 11・9
16	三井家の人びと	小島 直記	S 38・8
17	間法	井上 悟	S 54・2
18	〈ガン〉を生きる	田中 義文	S 62・4
19	あなたはクセで生きている	軽部 拓	H 16・7
20	紫式部日記の研究	木下 美	S 54・3
21	初老達の台湾旅行	吉富 徳	S 59・2
22	鏡の中の休日	新 昌良	H 3・8
23	抜萃のつゞり その二十五	熊平 源蔵	S 40・2
24	屁糞蔓 坂本茂木特集号	へくそかずら同人会	H 15・7
25	医師ギオン	ハンス・カロッサ 著 野村豊太郎 訳	H 13・

26	回顧 南欧かけある記	伊藤 薫	H 4・
27	旅果てしなく	中島 敏彦	S 58・1
28	旅	やひめ文庫	H 5・3
29	訪中記 1～7	八女地区日中友好協会	H 7～
30	長江・三峡下りの旅	日中友好訪中団	H 8・
31	新中国の旅	堀川 正通	S 53・11
32	マイ・ワンダフル・30 デイズ	古賀 敬一	H 8・12
33	十字架のある風景	宗方 慶司	H 16・9
34	親善の輪	吉富 徳	S 62・10
35	一筋に燃える	東 邦次郎	S 59・4
36	生活にゆとりを住みよい村づくり運動	榊 正弘	H 11・6
37	鱗雲	和田 伝	S 32・9
38	由布岳	加藤田 務	H 4・8
39	秋月賛歌	椎窓 猛	H 12・11
40	八女・井上三綱展		H 13・11
41	坂本繁二郎画伯をたたえて	八女文化連盟	H 15・5
42	書歴六十年書の回顧展図録	平島 桂仙	H 9・9
43	画・文集 惜別	菊池 光恵	H 16・6
44	吉田民尚画集	吉田 民尚	H 9・3
45	乙女座のピアス	城 はるみ	H 7・8
46	英雄医談	王丸 勇	S 47・9
47	英雄天才秘話	王丸 勇	S 53・6
48	トランプ国の13日	いとうまきこ	
49	横井小楠	堤 克彦	H 11・3
50	去年しくろく	椎窓 猛	H 13・8
51	マイ・コロンブス・デイ	〃	S 53・11
52	山峡に生きる椎の葉のような哀歌	〃	S 57・12

53	雑文集もぐらの唄	椎窓 猛	S 43・9
54	山峡ろまねすく	〃	H 9・1
55	山峡木契録	〃	H 11・6
56	ムササビ	〃	H 16・9
57	X電車に乗って	村田喜代子	H 11・6
58	ロードトークコレクション	古賀 一成	H 1・3
59	つれづれの記	的場 恒孝	H 13・3
60	関門海峡	古川 薫	H 5・12
61	事件 1999 - 2000	佐木隆三・永守良孝	H 12・12
62	清張古代游記 吉野ヶ里と邪馬台国	松本 清張	H 5・11
63	ヤポネシア考	島尾 敏雄	H 3・11
64	風の王国	五木 寛之	S 60・1
65	五島崩れ	森 禮子	S 55・3
66	「一業一貫」の経営	中村堅太郎	H 55・6
67	フリーライターになろう!	〃	H 6・6
68	正々堂々を生きた男	〃	H 12・9
69	人生お一人様一回限り	〃	H 6・6
70	衆知を集めて「素敵」を創る	〃	H 15・8
71	プロカメラマンになろう!	〃	H 6・9
72	「素敵」を売る。「納得」を頂く	〃	H 13・1
73	長崎けんみん信組の新航路	〃	H 10・11
74	郷に入って、郷に屈せず	〃	H 9・11
75	素敵商売十四話	〃	H 6・7
76	私の街 私の時代	久留米郷土研究会	H 1・11
77	故郷へー南薩沿線ー	樋渡 直竹	S 59・2
78	ぼくのアジア地図	岡 友幸	H 7・9
79	歴史の町並み事典	吉田 桂二	H 7・9

80	写真集 三池街道	井手将夫・新藤東洋男	S 60・8
81	下川都一郎・研 父子展		
82	博多、あの頃	石橋源一郎・波多江五兵衛	S 52・5
83	ふるさとさがし	張 敏	H 12・2
84	西島伊佐雄画文集 すんまっせん	西島伊三雄	H 5・3
85	聖福寮の子どもたち	いしが のぶこ	H 1・8
86	やっちょうき	そのだ まさじ	S 58・8
87	ヒロちゃん空を飛ぶ	ながとひろし・よしえヒロミ	H 16・8
88	私の絵手紙日記	原田 寛子	H 16・10
89	平井光典水墨画帖	平井 光典	S 62・4
90	チャーチル会 30 周年記念誌	CC久留米	H 5・6
91	彫塑と画集	大津留依子	H 8・7
92	日本わらべ歌全集・福岡のわらべ歌	友野晃一郎	S 63・12
93	霧の湯布院から	高見 乾司	H 7・8
94	愛そのものになる (I)~(III)	高橋 弘二	H 6・8
95	九州河童紀行	久本 三多	H 5・4
96	天国へのメール	大内 優子	H 13・1
97	風花を見つめて	渡辺 要三	S 62・7
98	インカの謎に惹かれて	〃	S 63・12
99	心月抄	下川 弘義	S 61・8
100	クワイ河の虜	小野木祥之 訳	H 8・6
101	アフリカ子連れ旅	松岡 邦興	H 6・11
102	人類への警告	飯田 直	H 12・8
103	江南紀行	森田 勇造	H 12・2
104	だからお店は面白い	たかはた けいこ	H 16・3
105	こぼるるみひかり	橋爪 勇哲	H 3・9
106	ムーランルージュの時代	神山 宏	H 15・7

107	感性の絵巻 仲町貞子	田中 俊廣	H 16・5
108	顔が変われば人生が変わる	掘 逸郎	H 16・10
109	プチ断食ダイエット	いしはら ゆうみ	H 14・12
110	苦言をひとつ〜若狭からのメッセージ	石黒 順二	H 15・11
111	相邑美佐江のヒーリングデザイン	相邑 美佐江	H 15・5
112	素晴らしきお産	谷口 祐司	H 6・4
113	余韻に美あり 中村旭国聞書	谷口 治達	S 63・6
114	神風連実記	荒木 精之	S 46・11
115	歯医者のおくが 怖くて歯医者に行けない理由	谷口 清	H 12・9
116	琵琶という二字	金子 厚男	S 58・11
117	今浦島	原田 喜示	H 17・3
118	リカに命をわけてください	宇津木 登	S 54・2
119	葉は落ちて根に帰る	片岡 稔恵	H 7・6
120	歯は中枢だった	村津 和正	H 14・2
121	逆戦災孤児	市川 倭	H 16・4
122	M 64 ~ある人形のオデュッセイア~	木村せせり	H 16・7
123	朧草子	柊 洪作	H 15・12
124	僕のスタンス	中田 幸作	H 12・9
125	いのちをつないで	賀久 はつ	H 12・2
126	CARTOONS ちょっとヒトコマ	坂井せいごう	S 14・6
127	甲泉漢詩集	八木 幸吉	H 15・3
128	江南三大名楼とその周辺 漢詩紀行	牛島 景資	H 17・2
129	江南漢詩紀行	〃	H 14・6
130	通りゃんせ	中嶋 恵子	H 10・11
131	荒野の風に吹かれて	紀元 一人	H 9・10
132	育みて 今	永井 暢一	H 12・7

133	海の病棟	武藤 泰勝	H 9・9
134	四階の小さな踊り場	山田 敦心	H 9・4
135	商人道	長谷川裕一	S 55・4
136	渦巻	手島 眞	H 17・3
137	生涯学習	草野 實	H 17・3
138	愛の白道	愛の白道刊行会	S 43・2
139	わが公民館の歳月	林 克馬	S 40・9
140	四国巡礼	宮部 末吉	S 49・4
141	九州西国巡拝	〃	S 51・4
142	西国巡礼	〃	S 57・7
143	卑弥呼の霊に捧ぐ	日留 山人	S 57・8
144	日本破局のシナリオ	パラダイム・ファクトリー	H 7・12
145	悲恋の女王久津媛	福本 英城	H 11・10
146	応援します、あなたの旅立ち	大平 光代	H 14・2
147	直木三十五入門	福山 琢磨	H 17・2
148	監督の条件2	田村信三郎	S 55・5
149	息子・正哲との思い出	東 孝	H 13・10
150	北朝鮮の夜明け	大谷 深	H 6・8
151	幾山河	瀬島 龍三	H 8・8
152	金 泳三	小林 慶二	H 4・10
153	国会十年の歩み	伊江 朝雄	S 63・5
154	耳納北麓と京筑の史跡を求めて	山口 昌登	
155	肥後路を撮る	〃	
156	古代から現代までの北九州市	〃	
157	北野天満宮参堂の名所	〃	
158	むつみ会 第一巻	むつみ会	
159	韓国からの便り	倉橋 葉子	

160	その時私は	原田 喜示	H 14・10
161	日本のこころ	片岡 繁彦	H 14・8
162	群青 第6号	楠 の 会	H 17・4
163	アトム小品集	原田 喜示	H 16・7
164	戦争と若者たち	堤 克彦	S 49・10
165	高校の現場から	〃	H 7・9
166	横井小楠	〃	H 11・3
167	いのち響きあう	森崎 和江	H 10・4
168	青木繁・坂本繁二郎	谷口 治達	H 7・2
169	続々絵葉書集	鶴田 忠義	H 7・10
170	小さな花	綽 真唯子	H 15・3
171	画帖 緬甸 (ビルマ)	西島伊三雄	H 15・11
172	海があるということは	川崎 洋	H 17・3
173	大人のための教科書のうた	〃	H 10・7
174	交わす言の葉	〃	H 14・11
175	詩集 ゴイサギが来た	〃	H 7・2
176	言葉のノート	〃	S 55・12
177	言葉遊びうた	川崎 洋	H 12・3
178	魚の名前	〃	H 16・12
179	旅ゆけば	〃	H 14・12
180	日本語探検	〃	H 7・6
181	日本の遊び歌	〃	H 6・9
182	日本方言詩集	〃	H 10・7
183	ひかるサケ	〃	H 2・4
184	不意の吊橋	〃	H 9・6
185	ママに会いたくて生まれてきた	〃	H 8・4
186	療原のこえ 民衆史の起点	色川 大吉	S 51・6

187	流転の民権家—村野常右衛門伝—	色川 大吉	S 55・10
188	ある昭和史—自分史の試み	〃	S 50・8
189	明治人その青春群像	〃	
190	流転の民俗学	〃	
191	歴史の方法	〃	S 52・10
192	北村透谷	〃	H 6・4
193	民権百年	〃	S 59・5
194	柳田国男	〃	S 53・2
195	明治人	〃	S 53・6
196	水俣の啓示	〃	S 58・7
197	昭和史と天皇	〃	H 3・7
198	日本縦断	〃	S 52・11
199	自由民権	〃	S 56・4
200	自由民権の地下水	〃	H 2・5
201	わたつみの友へ	〃	H 5・11
202	民衆史 その100年	〃	H 3・11
203	歴史の方法	〃	H 4・5
204	自分史 その理念と試み	〃	
205	ならば私が黒字にしよう	高塚 猛	H 15・8
206	高塚猛の実践「企業よみがえり学」講義	〃	H 15・1
207	NEW人の「意識」が変わるグランドマネジメント	〃	H 15・2
208	尾形光琳 江戸の天才絵師	飛鳥井頼道	H 16・10
209	新日本永代蔵	船橋 晴雄	H 15・4
210	イカロスの墜落のある風景	〃	S 58・7
211	日本経済の故郷を歩く	〃	H 12・6
212	あらためて経済の原点を考える	〃	H 13・12
213	岡崎嘉平太伝	岡崎嘉平太刊行会	H 4・8

214	誠意・創意・熱意	井本 勇	H 6・7
215	花と技術のまちづくり	辺見 敏之	S 60・3
216	男でござる 風の巻	細川 隆元	S 56・5
217	〃 龍の巻	〃	〃
218	「人材」と「お客」はいくらでもつくれる	高塚 猛	H 16・4
219	「伸びる人」の法則	〃	H 16・2
220	小島善三郎 資料集	福岡市美術館編	H 10・12
221	山崎朝雲 資料集	〃	S 62・3
222	保存版 山頭火	石 寒太編	H 10・6
223	山東火の世界	穴井 太	H 2・1
224	俳人山頭火の生涯	大山 澄太	S 58・1
225	山頭火と心友木村緑平	仲江 健治	H 10・10
226	放浪の俳人 山頭火	村上 護	S 63・8
227	わたしの山頭火	朝日新聞山口支局編	H 2・6
228	種田山頭火	村上 護	H 5・6
229	山頭火の道	大山 澄太	S 58・4
230	山本健吉俳句読本 1～5	山本 健吉	H 5・5
231	届かなかったラブレター		H 15・12
232	現代女流川柳鑑賞事典		H 18・10
233	あしあと	古賀 次夫	H 10・10
234	チャコと私のこころの旅物語	水城 央	H 16・1
235	宮崎兄弟伝 アジア篇 (下)	上村希望雄	H 11・3
236	春菜のおくりもの	高松真理子・波多江伸子	H 12・6
237	人と契らば濃く契れ	根元 順善	H 12・9
238	村岡安吉伝	村岡 安廣	S 59・11
239	大河を遡る	古賀 勝	H 12・10
240	坂本善三美術館建設物語	小国町役場	H 7・10

241	現代の名工たち	岬 茫洋	H 2・11
242	岬の人	三木 一雄	H 3・8
243	ふくおか人物誌(1) 貝原益軒	ふくおか人物誌編集委員会	H 5・7
244	明治の気骨利光鶴松伝	渡辺 行男	H 12・8
245	日本占領下・インドネシア旅芸人の記録	猪俣 良樹	H 8・9
246	現代の職人	石山 修武	H 3・2
247	漂泊者のアリア	古川 薫	H 2・10
248	ふるさと直方人物誌	舌間 信夫	H 5・10
249	西武ライオンズ	河村 英文	S 58・4
250	随筆ふきのとう	石橋 正良	S 54・3
251	ありがとう 4	RKB 毎日放送	H 9・6
252	八女の職人ことば	松田 久彦	S 61・11
253	北ウイング	中島 敏彦	S 63・3
254	いのちをうたう	古田 和弘	H 17・5
255	紫水	紫 水 会	H 13・7
256	カッパ漫談	森山 靖章	
257	漢詩集	主計 計扇	H 10・3
258	宣長残照・山桜の夢	藤井 滋生	H 14・3
259	正統三河武士の最期	芝 泰子	H 6・10
260	八十歳の軍師寺井玄溪	松本 順司	H 15・9
261	武弁詩懐	船木 捷彦	
262	随想 山陰つれづれ	酒井 董美	H 15・8
263	君への贈りもの	河端 洋安	
264	人生と念仏	寺山 文融	
265	午後の大回廊	渡辺 斉	
266	みやこという宇宙	園田 英弘	
267	空のおばさん	田熊 正子	

268	世界一周の誕生	園田 英弘	
269	医者のうち	岩永 保人	S 63・3
270	節くれの指	星野 秀水	H 17・8
271	炎の村へ	永延 幹男	S 61・4
272	続・水明書院主人文集	三原 温・智	H 17・2
273	古川利三郎想い出画集	古川 夕力	H 17・7
274	マワリテメクル小宇宙	岡部 賢二	H 17・9
275	石の花	藤井 信幸	H 9・3
276	原爆 ある被爆医師の証言	服部達太郎	S 44・8
277	谷口弥三郎伝	荒木 精之	S 39・12
278	彷徨と回帰	中野 章子	H 7・5
279	流されゆく日々 1975～1987	五木 寛之	H 7・5
280	流されゆく日々 1988～1995	五木 寛之	H 7・5
281	ふるさと語情報館	川崎 洋	S 56・6
282	蓮如物語	五木 寛之	H 7・11
283	うねりの時代	小川 義勝	H 9・
284	着信人払い地球郵便局	田部 光子	S 59・8
285	その時どきに心を込めて	富田 英壽	H 16・2
286	梅は寒苦を経て清香を発す	富田 英壽	H 16・10
287	聴心記	武見 太郎	S 53・9
288	往診よもやま話	福岡市内科医会	S 47・4
289	検事物語	樫田 忠美	S 31・5
290	東南アジアを廻って	久原 忠夫	S 35・5
291	診察室うらおもて	三浦 隆蔵	S 35・9
292	まむしのたわごと	金原 一郎	S 39・8
293	まむしのたわごと第二集	金原 一郎	S 40・10
294	続田舎産婦人科医の珍話	本田 勝信	S 54・7

295	白露も夢も	小川 義勝	
296	道 標	小川 義勝	
297	草 枕	小川 義勝	
298	花 標	小川 義勝	
300	群青第7号	文芸宗像楠の会	H 18・4
301	芭蕉さんの悪戯	八女川 瀬	H 18・3
302	文章歩道	高 遠 書 房	H 18・4
303	子の心親知らず	船木 英示	H 7・1
304	文章歩道 春号・夏号	高遠書房	H 18・1~
305	三十九年目の判決	宮永 偉文	H 4・5
306	播磨の寛延一揆	田 靡 新	H 7・7
307	館長漫調 第2巻	貞森比呂志	H 14・4
308	画文集 孫の所望	白武留康・中村ちひろ	H 13・4
309	バルビソンの道	高橋甲四郎	H 18・1
310	ひぐらしが啼き止んで	西村 虎治	H 14・3
311	みかんの花咲く丘	西村 虎治	H 16・11
312	花のうた	貞刈みどり	H 17・10
313	心のうた	貞刈みどり	H 10・8
314	北の追憶	櫻田 正樹	H 3・2
315	妄想スケッチ	久保田力オル	H 19・5
316	旅と夢と散策と	坂内 昇	H 19・5
317	こころの摘み草	稗田チツ子	H 19・5
318	紫水 No28	紫 水 会	H 19・7
319	裏切りの協奏曲	宗方 慶司	H 19・8
320	縄文風花記	岩元 末治	H 19・8
321	復権か従属か	秋吉久紀夫	H 17・6
322	ティンサ	根本百合子	H 19・7

323	風の牧場	多賀 浪砂	H 18・12
324	なんでバイバイするとやか?	ごとうひろし	H 20・3
325	あなたの笑顔がみたくて	龍 一郎・李恵	H 18・3
326	夢鳳水墨画集	詫間 文男	H 4・6
327	津留誠一作品集	津留 誠一	H 13・2
328	團さんの夢	中野 政則	H 15・4
329	青春の刻	有田 一寿	H 4・3
330	はいぬづか	世良田静江	H 20・9
331	高橋常雄作品集	高橋 富枝	H 12・5
332	街角の四季	森 眞吾	H 19・7
333	福、徳、貧乏、幸い	門田 保慶	H 19・1
334	黄砂ふる街	森 眞吾	H 18・11
335	坂本龍馬暗殺異伝	和田 武久	H 20・9
336	火の音	有森 信二	H 20・9
337	大家クレパス画集	藤 井 (株)	S 55・9
338	ペルーの旅から	前田 拓郎	H 4・9
339	前田拓郎写真集		H 1・11
340	石橋明 50 周年記念画集		H 22・5
341	夫婦茶碗	池田 義則	H 21・9
342	千代の松原	岡部 信彦	H 8・10
343	前進中に死ぬこと	萩原 義郷	H 11・7
344	梅が香に	高瀬美代子	H 21・10
345	花のうた	貞刈みどり・戸田幸一	H 17・10
346	節くれの指	星野 秀水	H 17・8
347	渥美幸裕画集	渥美 幸裕	H 24・6
348	中洲交番日誌	森田 利夫	H 9・10
349	デイサービスワークブック (1)	緒方 昭一	H 21・10

350	デイサービスワークブック (2)	緒方 昭一	H 22・6
351	寺田寅彦	鴻江洋明編	H 6・8
352	こだまする着物	伊賀 律子	H 24・7
353	井口保画集	井口 保	H 18・3
354	古賀耕兎作品集	古賀 耕兎	H 24・6
355	山崎勉作品集	山崎 勉	H 12・6
356	水墨画作品集	中島美代子	H 24・9
357	骨董・慶世羅せら	服部 豊文	H 24・10
358	視点学のすすめ	内野 健一	H 24・10
359	これが字漫たい	ばんば三郎	H 8・7
360	中国漢詩紀行	牛島 景資	H 25・7
361	花束 No4 ~	花 束 会	T 12・4
362	広報マンのつぶやき	下田 高大	H 14・9
363	漢字面白帳	長野 正	S 58・11
364	人物記者手帖	花田 衛	H 5・9
365	鈍刀を磨いて	小川 直人	H 21・3
366	エッセイ集 歳月	永家 光雄	H 25・1
367	手島文雄木版画集	手島 文雄	H 26・3
368	田代喜玖生作品集	田代喜玖生	H 26・3
369	筑後耳納山麓	井口 益次	H 23・2
370	柿原 聡 画集		H 25・8
371	夢限りなく	助廣 克彦	H 27・1
372	南無	正明寺はちす会	S 62・9
373	手のなかの暦	澤地 久枝	S 59・11
374	逢わばや見ばや	出久根達郎	H 9・6
375	わが師 山本周五郎	早乙女 貢	H 15・6
376	銀座に生きる	鈴木真砂女	H 10・11

377	お稲荷さん路地	鈴木真砂女	H 11・7
378	寒光届かず	吉良 幸生	H 16・4
379	沈み 橋を渡る	吉良 幸生	H 23・5
380	詩情の山	高橋 孝	S 39・10
381			
382			
383			
384			
385			
386			
387			
388			
389			
390			
391			
392			
393			
394			
395			
396			
397			
398			
399			
400			
401			
402			
403			